



JACET-Chubu Newsletter

支部長就任のご挨拶と 支部大会へのお誘い

支部長 今井 隆夫
(南山大学)

支部会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、私こと、2021年6月より、前支部長の石川有香先生の後任として、中部支部長を拝命することになりました。微力ではございますが、支部役員の先生方にお助けいただきつつ、「人間万事塞翁が馬」(英語で意味が類似した表現は、When life gives you a lemon, make lemonade!)を座右の銘に、支部運営にあたらせていただく所存です。任期となります2年間、どうぞよろしくお願い致します。

新執行部は、副支部長に安達理恵先生(椋山女学園大学)、事務局幹事に吉川りさ先生(名古屋工業大学)、会計幹事に藤田賢先生(愛知学院大学)、幹事に地村みゆき先生(愛知大学)の5人体制で臨んでまいります。コロナ騒動も、すでに1年が経過しましたが、何事にもプラス面とマイナス面がありますので、コロナ騒動だからこそできるプラス面を生かした運営、また、コロナ騒動下で得た技術を騒動後も継承した運営を2年間やっていきたいと思っておりますので、会員の皆様方のご協力を賜りたく存じます。

新執行部になって最初の企画は、2021年6月12日(土曜)に開催されます支部大会です。Zoomによる同時双方向のオンライン開催で、大会テーマを「新しい時代の英語コミュニケーション能力」とし、「新時代に必要な英語コミュニケーション能力: 認知言語学からの提言」という演題で特別講演とシンポジウムを企画しました。英語教育にはhow toとwhat toの両面が必要ですが、今回はwhat toに焦点を当てます。講演講師には、オンラインの利点を生かし、University of Birmingham, U.K.から、認知言語学と英語教育の分野で、比喩と英語教育について著名なJeannette Littlemore先生をお迎えしてお話いただけることが実現しました。さらに、シンポジウムでは、ラネカー、レイコフと並んで、日本においては、認知言語学の第一人者である山梨正明先生(関西外国語大学教授・京都大学名誉教授)、若手新進気鋭の認知言語学者、有蘭智美先生(名古屋学院大学准教授)をお迎えし、認知言語学と英語教育について考える機会をもてることになりました。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

目次

支部長就任のご挨拶と支部大会へのお誘い	今井隆夫	1頁
<u>講演会報告 1</u>		
白畑知彦氏		
「大学生への英語教授についての私的提案」	今井隆夫	2頁
<u>講演会報告 2</u>		
北村紗衣氏		
「ウィキペディアと大学の英語教育」	安達理恵	3頁
<u>研究会報告</u>		
国際英語と異文化理解研究会	吉川 寛	5頁
事務局より		6頁

講演会報告 I

中部支部 2020 年度講演会

「大学生への英語教授についての私的提案」

白畑知彦（静岡大学教授）

2020 年 12 月 5 日

[Zoom 開催]

英語科教育法の授業をコンパクトに拝聴できたような明日からの授業に使えるアイデアが満載の有意義な講演であった。内容は、白畑先生が、日頃大学生への共通教育の英語で実践されていることです。以下、講演内容からいくつかを紹介したいと思います。

言語習得に必須なものは言語インプット

どれだけのインプットがあれば十分なのかは何とも言えませんが、教室環境での第二言語インプットは少ないことは確かです。しかし、言語インプット（肯定証拠）は必須です。肯定証拠というのは、英語では「このように言う」というデータをもらうこと。教科書の例文は、肯定証拠なので、それらをインプットする工夫が必要です。

ペア活動・グループ活動の重要性

英語学習では、相手がいないとできない活動は多くある。教師が一人しかいない欠点を補ってくれる。授業が単調にならないなどの利点が多い。教師が一方向的に喋るのではなく、授業時間の多くを学習者が英語を使用している時間にすることが大切。また、タスクは、飽きが来ないようにテンポよく切り替えることが必要。

十分でない言語インプットを補う工夫としての

明示的指導と否定証拠の活用

日本の教室環境で、「自然に」「無意識的に」言語習得ができるほどのインプットが受けていない。限られた授業時間内での、限られた量のインプット量を補う工夫が必要。年齢が上がれば、抽象的、分析的思考能力が高くなる。成人は「理屈」を説明する方が納得する。

学習した知識は自動化できる知識に変わっていくという理由から明示的指導と否定証拠の活用は有効です。しかし、文法項目によって明示的指導のやり方を変えることが必要です。また、明示的指導には限界もあることを知っておくと良い（万能薬ではない）。

①あっさり教えて、タスク活動の時間を長く取る項目、②比較的時間をかけて、概念から教える項目、③一見容易に見えるも、誤りを続けており、温かい目で見守る項目、④習得が本当に難しいため、誤っても気にしない項目など、学習項目の特徴別に教え方を工夫することが大切。

明示的指導が効果的な項目の特徴とは（白畑（2015）の仮説）

①規則が単純な項目、②語彙的意味の伝達が主となる項目、③日本語（母語）に同じか、類似した概念が存在する項目、④今までに十分に教えられてこなかった項目

明示的指導の効果が低い項目の特徴とは（白畑（2015）の仮説）


①規則が複雑な項目、②文法的機能の伝達が主となる項目、③日本語（母語）に同じか、類似した概念が存在しない項目、④その規則について既に十分な知識を持っている項目

VELC Test[®] Online [ベルクテスト・オンライン]

Visualizing English Language Competency Test Online

VELC テストにスマホ、タブレット、PC で受験可能なオンライン版が登場しました。
是非、デモ版をご体験ください。



 [詳しくはこちら](#)

VELC 研究会事務局（株式会社金星堂内）
東京都千代田区神田神保町 3-21（〒101-0051）
電話 03-3263-3828 / FAX 03-3263-0716
e-mail info@velctest.org <https://www.velctest.org/>

現在完了形、仮定法、to 不定詞、等への明示的指導の注意点

文法用語の使用で誤魔化すのではなく(その意味が分からない学習者がたくさんいるから)、その文法項目の持つ、本質的な機能の理解を促したい形式だけでなく、その表わす意味をしっかりと教えたい。

否定証拠の活用とは?

「このようには言わない」「言うのは不適格」という証拠が否定証拠。否定証拠を利用する教え方を工夫する。例えば、「日本語話者がよく誤る言い方」を教室で例示してもよいのでは? *My family is five people.を提示し、My family has five people.であることを気づかせるなど。

インプットを増やすための自宅学習について

また、授業では補いきれないインプット量を増やすための家庭学習として、①「予習」ではなく、「復習」を中心とした宿題を繰り返し復習してもらい、定着をはかる、②単語も文法事項も、これまでに学習してきたことを、声に出して何度も復習できるような宿題を出したい、③一人でもできるライティングは宿題に。辞書の使用可、④ライティングは、生徒の好きなテーマで書かせることも、本当に伝えたいことを教師に書くということ大事(教師とのコミュニケーション活動)などが紹介された。ついでに、「禁止事項:このような宿題はやめませんか?」として、次の項目が提示された。①「現在完了形を使った文を3つ作ってきなさい」どのような文脈で使うのか?②「同じ単語を、ノートに10回どおり書いてきなさい」③「本文をすべて日本語訳して、ノートに書いてきなさい」

まとめ

白畑先生は講演の初めに、「今日は、私が日頃実践している大学生への英語教育についてお話しします。基本、第二言語習得研究の話ではありません。」と言って、講演を始められましたが、長年第二言語習得論を研究されてきた実績が、潜在意識的に理論に裏付けられた英語教育実践のお話で、大変有意義な講演会だったと思います。

今井隆夫(南山大学)

講演会報告 2

中部支部 2020 年度講演会

「ウィキペディアと大学の英語教育」

北村紗衣(武蔵大学准教授)

2021 年 3 月 6 日

[Zoom 開催]

ウィキペディアの記事を書く人をウィキペディアンと呼ぶそうであるが、北村氏はその一人として活動されつつ、ウィキペディアを英語教育に利用されている。ウィキペディアの 3 大方針には、①検証可能性(出典を明記する必要がある)、②中立的な観点(特に対立する見解がある場合バランスを重視する)、③独自研究は載せない(二次資料について記述するのがウィキペディア)、がある。しかし、ウィキペディアは、実は信じてはいけない(!)そうである(ただし信頼性が低いとも限らず、信頼性が高く面白い記事もある)。この背景には、ウィキペディアがボランティアで運営されており、エディターは全員平等で誰でも編集でき、コミュニティの同意でできているものなので、執筆は専門家とは限らないからだ。また、ウィキペディアンには圧倒的に男性が多い。このことは、分野のバラエティーに乏しくなり、記事内容に偏りが生まれ、内容の質が下がる可能性があるそうだ。

講演者の北村氏は 2015 年より、ウィキペディアを用いて大学で英語を教えるプロジェクトクラスを行っている。ウィキペディアは所定の手続きを踏めば他の言語の記事を翻訳して別の言語版の記事として公開することができ

CNN ENGLISH EXPRESS
音声ダウンロード付き 毎月6日発売 定価1,263円(税込)

英語が楽しく続けられる!
重大事件から日常のおもしろネタ、スターや著名人のインタビューなど、CNNの多彩なニュースを生の音声とともにお届けします。
3段階ステップアップ方式で初めて学習する方も安心。どなたでも楽しく続けられて実践的な英語力が身につきます。

資格試験の強い味方!
ニュース英語に慣れれば、TOEIC®テスト等のリスニング問題も楽に聞き取れるようになります。

朝日出版社 〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-3-5 TEL 03-3263-3321

るシステムになっている。北村氏はこれを利用して学生に英語版の記事をひとつ選んでもらい、日本語に翻訳して日本語版ウィキペディアにアップロードするという授業を行っている。英語と情報リテラシー教育を組み合わせた授業である一方、手法としては古典的な英文和訳となっている。ウィキペディアには記事ページと下書きのページがあり、学生にはまず下書きのページに書いてもらう。



ウィキペディアは、大学と共同でプロジェクトを実施しているケースもあり、ウィキペディアン養成セミナーも開講されているそうである。氏が授業で始めたきっかけは、学生の英語力・調べる技術の向上と、日本語版ウィキペディアへの参加がある。ウィキペディアは、生きた英語につながり、またウィキペディアにはウソが書いてあることもあるので、出典を確認する必要がある。情報リテラシー教育もできること、さらに社会貢献でき、成果が講評されるのでモチベーションにもつながりやすいそうである。ただし学生には課題もある。まずは情報リテラシーが弱く、例えば、SNS 感覚で使ってしまう、著作権を理解できていない、などがある。また Wiki 記法は難しい。次に英語を学生が訳す際には文法や長文の順序などに課題が見られる。さらに日本語力についても、フォーマルな語彙選択や表現ができず、人に読んでもらえるような文が書けない場合もある。しかし、この授業を通して学生には多様な学びがあったようだ。ただし実施するには、教員の側も記事の選び方などに注意が必要なので、まずはウィキペディアでの編集に慣れてから実施する必要があるだろう。

講演を拝聴し、ウィキペディアの外国語教育利用は、まさに私が研究している CLIL (内容言語統合型学習) であると気づいた。百科事典としての役割から当然、内容:content が最も重要である上、文書を書くには情報リテラシーも必要で思考力:cognition を要する。また社会貢献になるので社会とのつながり:community を実感しつつ、異文化:culture の多様なトピックも理解できる。大学での外国語教育でまさに智を獲得できる授業と言える

だろう。教員がまずウィキペディアでの編集に慣れないといけない、という課題はあるものの、外国語能力に加え、教養も深めることができるのは、なかなか魅力的な授業と考える。

また、ウィキペディアンには男性が多いため、記事の視点が男性中心となりやすい、という点は重要な指摘と思う。つい最近、「#わきまえない女」が注目された。「わきまえる」の指す意味は複雑だ。言葉を発した人の立場によって意味合いが変わってくる可能性があるからだ。だからこそ、何を言うべきで何を保留するかは行為の主体が決定することであって、それを奪いかねない他者による発言は避けるべきと思う。日本語にはこのように曖昧な意味を持つ言葉が多いが、女子大で外国語や異文化を教える立場にある者として、学生には外国語能力だけでなく、外国語を通して自律性と主体性を育てたいと思う。学生が、自分にとって何が大切かを判断できるような幅広い教養を深め、必要なことは言葉で伝えることができる表現者になることを願って、教育に向き合おうと思った。

安達理恵 (椋山女学園大)

教室と世界をつなぐ英語授業のために	
コミュニケーション・タスクの アイデアとマテリアル	
	加藤由崇 / 松村昌紀 / Paul Wicking 編著 横山友里 / 田村 祐 / 小林真実 著
	A5 判 並製 264 ページ ISBN: 978-4-384-05940-3 定価 3,080 円 (税込) 【好評発売中】
	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-2-22 TEL 03-3405-4511 FAX 03-3405-4522 https://www.sanshusha.co.jp

研究会報告

国際英語と異文化理解研究会 World Englishes and Cross-cultural Understanding

2005 年度設立の「国際英語と異文化理解研究会」は国際英語論と異文化理解の視点から英語教育のあり方を考える研究会である。現在の主たる研究活動は科学研究費基盤研究(C)「母語話者英語を単一規範としない国際汎用性重視の英語新評価の有効性に関する実証研究」(平成 30 年度～令和 2 年度(3 年度まで延長))をめぐって行われている。科研費助成研究に関して各人が研究分担に沿った研究を進める他、それぞれが国際英語或いは異文化理解に関する個人研究も実施している。

研究会会員は例年 IAWE 学会や ELF 学会等に参加し、共同研究発表や個人研究発表を行うと共に、国際英語論研究の最新動向の把握に努めている。JACET 関連では例年国際大会や支部大会などで共同・個人研究発表を行っている。2020 年度は、JAAL in JACET(12 月 6 日)で「国際英語論の視点からの評価」を総合テーマとして SIG 発表を行い、吉川が「DALP model による英語変種の評価」、塩澤が「汎用性重視の評価の実践—学習者の視点—」、小宮が「日本語モダリティを反映する日本人英語の特徴と評価」、下内が「カタカナ英語と音節意識」、倉橋が「異文化理解力と英語科目の評価」の個別テーマで発表を行った。また、JACET 中部支部春季定例研究会(2021 年 3 月 6 日)の研究

発表で、塩澤が「正確さ重視の評価と汎用性重視の評価の関係—「国際英語論」の視点からの評価を考える」のテーマで、吉川が「日本の多言語社会化で生じる問題と英語の役割」のテーマで研究発表を行った。また、その他の学会でも会員各自が様々な研究発表を行っている。

2016 年には会員共著で『「国際英語論」で変わる日本の英語教育』をくろしお出版から出版することが出来たが、それ以降出版から遠ざかっているため 2021 年度から新たな著書の共同執筆を進めたいと考えている。更に、引き続き競争的研究資金の獲得に努力し、研究会としての研究環境を整え着実な研究活動を進めて行きたいと考えている。

吉川 寛(中京大学)

掲示板

『JACET 中部支部紀要』第 19 号への掲載論文の投稿(学術論文、研究ノート、実践報告、書評)を募集します。奮ってご応募ください。

締切: 2021 年 9 月 20 日
刊行予定: 2021 年 12 月
掲載料: 刷り上がり 1 ページにつき、
1,000 円の負担
問合せ: JACET 中部支部事務局

投稿方法等の詳細については中部支部ホームページでご確認ください。

中部支部紀要編集委員会

 成美堂 2021 年度 新刊のご案内		〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-22 TEL 03-3291-2261 / FAX 03-3293-5490	
Live Escalate Book 1: Base Camp.....	2,500 円(税別)	Healthy Habits for a Better Life.....	1,900 円(税別)
Live Escalate Book 2: Trekking.....	2,500 円(税別)	CBS NewsBreak 5.....	2,400 円(税別)
Success with Reading Book 3 -Boost Your Reading Skills-.....	2,500 円(税別)	AFP SciTech Futures.....	2,500 円(税別)
Listen Up, Talk Back Book 2 -English for Everyday Communication-.....	2,300 円(税別)	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC® L&R TEST -BASIC-.....	2,200 円(税別)
Global Issues -An Introduction to Discussion Skills-.....	2,200 円(税別)	PROGRESSIVE STRATEGY FOR THE TOEIC® L&R TEST.....	2,000 円(税別)
Let's Read Aloud & Learn English: Going Abroad.....	2,200 円(税別)	Grand Tour - Seeing the World.....	1,900 円(税別)
Living Grammar -New Edition-.....	1,900 円(税別)	Meet the World 2021 -English through Newspapers-.....	2,000 円(税別)
Science Arena.....	1,900 円(税別)	Medical World Walkabout.....	2,500 円(税別)
 SEIBIDO		URL: http://www.seibido.co.jp e-mail: seibido@seibido.co.jp	

事務局より

◆ 新入会員のご紹介

2021年1月から2021年5月までの中部支部所属新入会員は以下の方々です。(敬称略、入会順)

林 みどり(中京大学)
川原 功司(名古屋外国語大学)
ランズベリー ローレン(桜花学園大学(非常勤))
巽 徹(岐阜大学)
ジョーンズ クレイグ(愛知県立大学)

◆ 2021年度中部支部役員紹介(敬称略)

顧問： 倉橋洋子(東海学園大学名誉教授)
田中春美(南山大学名誉教授)
吉川寛(中京大学)
理事：6月まで石川有香(名古屋工業大学)
6月より今井隆夫(南山大学)
支 部 長：今井隆夫(南山大学)
副支部長：安達理恵(椋山女学園大学)
事務局幹事：吉川りさ(名古屋工業大学)
事務局幹事補佐：地村みゆき(愛知大学)
幹事支部会計担当：藤田賢(愛知学院大学)

支部研究企画委員(50音順)

安達理恵(椋山女学園大学)、石川有香(名古屋工業大学)、伊東田恵(豊田工業大学)、藤田賢(愛知学院大学)、今井隆夫(南山大学)、大石晴美(岐阜聖徳学園大学)、大瀧綾乃(静岡大学)、岡戸浩子(名城大学)、大森裕實(愛知県立大学)、河原俊昭(岐阜女子大学)、木村友保(名古屋外国語大学名誉教授)、倉橋洋子(東海学園大学名誉教授)、小宮富子(岡崎女子短期大学)、佐藤雄大(名古屋外国語大学)、塩澤正(中部大学)、下内充(中部学院大学)、白畑知彦(静岡大学)、杉浦正利(名古屋大学)、鈴木達也(南山大学)、地村みゆき(愛知大学)、藤原康弘(名城大学)、三上仁志(中部大学)、吉川寛(中京大学)、吉川りさ(名古屋工業大学)、梁志鋭(豊橋技術科学大学)

支部紀要編集委員会

委員長：大石晴美

委 員：石川有香、岡戸浩子、下内 充、白畑知彦、杉浦正利、藤原康弘、三上仁志

◆ 2021年度第1回支部総会資料について
第1回支部総会資料を本ニュースレターと共にお送りします。本資料の内容は理事会にて審議・承認を得ており、報告事項となります。本資料に関するご質問がございましたら、6月30日までに、中部事務局までメールにてお寄せください。その際には、件名を【JACET 中部総会質問】とお願いします。

◆ 2021年度支部大会のお知らせ

第36回中部支部大会を2021年6月12日にオンラインにて開催いたします。研究発表・実践報告の他、特別講演として、英国より、Dr. Jeannette Littlemore (University of Birmingham) をお招きし、お話しいただく予定です。なお、シンポジウムでは、有菌智美先生(名古屋学院大学准教授)および山梨正明先生(関西外国語大学教授・京都大学名誉教授)を講師としてお話しいただく予定です。その他、会員同士の情報交換会も予定しております。どうぞ奮ってご参加ください。

◆ 2021年度講演会・定例研究会のお知らせ

2021年中部支部講演会を2021年10月30日(土)にオンラインにて開催いたします。また、第1回定例研究会を2021年12月11日(土)に、第2回定例研究会を2022年3月5日(土)にオンラインにて開催します。詳細はJACET中部支部ホームページに掲載予定です。

◆ JACET第60回記念国際大会のご案内

JACETは2022年に創立60周年を迎えます。その先駆けとして、2021年度の第60回記念国際大会は第48回サマーセミナーと連続して行い、「JACET 創立60周年記念ウィーク」としてオンラインでの同時期(2021年8

月 25 日(水)～29 日(日))開催となります。

JACET 第 60 回記念国際大会

2021 年 8 月 27 日(金)～29 日(日)

大会テーマ

「時代の変化を乗り越える英語教育—

Society 5.0 という現実を迎えて」

English Language Education to

Endure Changing Times: Facing the

Reality of Society 5.0

◆ 住所変更届提出のお願い

支部会員のみなさまに、紀要や Newsletter などの郵便物をお届けできない事例が増えています。お手数ですが、転居の際には、JACET 本部事務局と中部支部事務局の両方に、住所変更届をご提出ください。

◆ ニュースレターは会員の皆様のフォーラムです。ご意見、ご要望等は事務局までメールでお送りください。投稿も歓迎いたします。なお、メール件名は【JACET 中部】とお書き添えください。

JACET 中部支部事務局

〒466-855 愛知県名古屋市昭和区

御器所町

名古屋工業大学 吉川りさ研究室内

E-mail: yoshikawa.lisa@nitech.ac.jp

JACET 中部支部ホームページ

<http://www.jacet-chubu.org/>

JACET-Chubu Newsletter No. 46

2021年5月20日発行

発行者：一般社団法人 大学英語教育学会

中部支部 (代表) 今井隆夫

編集者：大瀧綾乃、地村みゆき、

吉川りさ